



浦和レッズ

レッズローズ植栽プロジェクト 1/2



Story

◆世界初、サッカークラブの名が付いたバラが誕生するまで◆
バラの誕生のきっかけは、1999年までさかのぼります。同年のリーグ最終戦、駒場スタジアム。浦和レッズのJ2降格が決まり、歓声が消え、スタンドを重い沈黙が覆いました。絶望感に包まれる選手たち。すると、スタンドのファン・サポーターは涙交じりに『We are REDS!』コールを始めました。それは、“たとえJ2であってもチームを支え、1年で再びJ1に復帰させる”誓いのコールでした。クラブが浦和を愛する仲間たちと真の絆でつながった、忘れられない瞬間でした。その後、この浦和を愛するホームタウンの人たちへの恩返しと更なる絆づくりへのクラブの想いと、さいたま市(旧与野市)在住のバラ育種家の「地元のサッカークラブをイメージした真っ赤なバラを作りたい」という想いが重なり、世界中で愛されているバラをテーマにしたオリジナルローズの育種が始まりました。何度も交配を重ね、実験栽培などを経た2010年、ついに「浦和レッドダイヤモンドズ」(愛称:Reds Rose)が完成。従来のバラがもつ特徴に「レッズの赤」「誰からも愛される」「力強さ」というテーマを加えた、浦和レッズにふさわしいバラとなって誕生しました。

◆Reds Roseの特徴と込められた想い◆

【鮮やかな赤】

多くの交配を繰り返して出来た60の個体(バラ)の中で納得のいく赤は2つだけでした。その2つから「強さ」や「育てやすさ」を改良し、チームカラーを表現した世界でひとつだけの「レッズの赤」を作出しました。

【育てやすさ】

鉢植え、地植えの共用が可能で、樹高が80cm程度とコンパクトに生育する品種であるため、市街地やベランダ園芸にも適しています。また耐病性にも優れており、初心者でも安心して育てられることから、浦和レッズの目指す「誰からも愛される(クラブ)」を表現しています。

【力強さ】

四季咲き性の品種で、春から秋まで繰り返し開花します。また、一つの房に花が多く付く多花性で、花もちが良い品種です。一般的な四季咲き性のバラは秋の花付きが少ない傾向ですが、Reds Roseは春はもちろんのこと、秋も花付きが良く実用性に優れる「力強さ」を兼ね備えています。

◆Reds Roseのこれまでと「これから」◆

2012年、埼玉スタジアム公園緑化事業に協力しスタジアムへ植栽したのを皮切りに、浦和駒場スタジアムやレッズランドなど、クラブやホームタウンさいたま市のランドマークとなるスポットを中心に活動を開始しました。2013年には、さいたま市公園緑地協会が推進する市民協働事業への参画や埼玉県公園緑地協会との協働により、両協会が管理する公園や施設など、さいたま市から埼玉県全域へと植栽エリアを拡大。公共施設への植栽が進むと徐々に認知も高まり、2017年頃からはさいたま市内の小・中学校や高等学校を中心とした学校関係へと輪が広がっていきました。そして2020年秋には、さいたま市中央区との協働植栽事業がスタート。これは行政・クラブ・区内の企業・バラサポーターが連携し、植栽活動を通じた「住み続けられる『バラのまち中央区』の街づくり」に貢献していくものです。この取り組みにより、Reds Roseの植栽活動はシャレン！活動へと昇華しました。

Reds Roseは単なる植栽活動のアイテムではなく、コミュニティづくり、ファンづくり、地域とクラブを繋ぐエンゲージメントづくりのシンボルとなっています。このコロナ禍において、その価値・存在感はさらに高まっています。これからもこの地道に作り上げてきた流れをさらに加速していきたいと考えています。

◆笑顔あふれる幸せな街づくりに貢献するために◆

Reds Roseの花言葉は、3つ。「誰からも愛される、強い、忍耐」。

作出者の河合伸志(かわいたかし)氏より次のようなコメントをいただいています。
～この「浦和レッドダイヤモンドズ」というバラは、本当に「浦和レッズ」そのものだと思います。誰からも愛され、強く、そして耐えることを知っているバラだからです。植物はいい時も悪い時もありますが、愛情を注げば必ず元気に長く育ちます。冬は休眠期に入るため元気がないように見えるかもしれませんが、この時期にしっかりエネルギーを蓄えることで、力強く芽吹き、春には燃えるような赤い花が咲きます。美しく咲くには、咲かない時期も必要なのです。「浦和レッズ」も同じことが言えるのではないのでしょうか。「Reds Rose」と「浦和レッズ」を重ね合わせながら育ててもらえれば嬉しいです。そしてこのバラからいろいろなことを感じながら、ファン・サポーターの皆さんの心が豊かになっていくことを心から願っています。～

河合氏の想いとともに、これからも浦和レッズはReds Roseに「ホームタウンで輝き続ける！」というメッセージを込めてプロジェクトを推進し、真っ赤に咲き誇るバラとともにホームタウンの人々の笑顔があふれる幸せな街づくりに貢献していきます。



浦和レッズ

レッズローズ植栽プロジェクト 2/2



活動詳細情報はこちら



<https://www.urawa-reds.co.jp/clubinfo/%E3%80%8Creds-rose%E3%80%8D%E8%AA%95%E7%94%9F/>
<https://www.city.saitama.jp/chuo/002/p076417.html>

活動場所

埼玉スタジアム2002ほか埼玉県内の
公園、施設、学校など

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ



協働者

企業、住民、学校、行政

協働者名

株式会社グリーンダイナミクス、有限会社ハイフラワー
小磯梨園、中央区バラサポーター、
さいたま市立小・中・高等学校、さいたま市中央区役所、
公益財団法人さいたま市公園緑地協会、
公益財団法人埼玉県公園緑地協会

補足

2020年末現在、計47箇所(966株)を植栽しています。

